

令和7年度 第1回 船越小学校運営協議会 会議録（要点記録）

- 1 開催日時 令和7年5月9日（金） 14時40分から15時45分まで
- 2 開催場所 船越小学校 3階会議室
- 3 出席委員 藤本 桂、石川 公子、永田 真也、鈴木 仁、山田 佳敬、山内 雄一郎、杉山 勝彦、杉原 将吾、権瓶 悠
- 4 欠席委員 なし
- 5 オブザーバー 佐藤 拓男（中部協働センター所長）、島 一道（中部協働センター）
青木 雪菜（PTA 副会長）
- 6 学 校 中村 竜久（校長）、田内 乃理恵（教頭）、美和 泰子（教務主任）
波多野 祐子（CSディレクター）
- 7 傍聴者 なし
- 8 会議記録作成者 CSディレクター 波多野 祐子
- 9 会長の選出及び副会長の指名

司会から会長選出について委員に意見を求めたところ、永田委員から藤本委員を会長に推挙する旨の発言があり、全員異議なくこれを承認した。また、その後、会長に選出された藤本委員から、石川委員を副会長に指名する旨の報告があった。

10 議長の選出

司会から、議長の選出について委員に意見を求めたところ、鈴木委員が本日の議長を務めることを申し出、全員異議なくこれを承認した。

11 協議事項

- (1) 学校運営の基本方針について
- (2) 浜松市立船越小学校 いじめ防止基本方針について
- (3) 夢育やらまいか事業に対する意見書について

12 会議記録

司会の美和（教務主任）から、委員総数9人のうち9人の出席があり、過半数に達しているため、会議が成立している旨の報告があった。

(1) 学校運営の基本方針について

校長から、R7年度の基本方針について説明。基本的にはR6年度からの方針を引き継ぎ、学校教育目標「たくましく しなやかな ふなっこ ～自立と共生～」、学校経営理念「子供も職員もみんな幸せ」、R7年度の重点（資質能力を育む・学校行事の充実・家庭との信頼関係の構築・より深い地域との連携）の説明があり、委員からは以下の発言があった。

- ・先生方にCSについて知ってもらい、うまく活用してもらおうための話し合いを実現したい。いじめの対応についても考えていきたい。（藤本委員）
- ・先生方には、負担にならない範囲で関わっていただき、要望があれば出してもらえたら良いのではないかと。（石川委員）
- ・校長も3年目なので、方針の継続という意味では安心感がある。継続性も大事にしながら新しいことも実現していけたら良いのではないかと。（永田委員）
- ・コロナでいろいろな行事がなくなったこともあったので、R7年度重点目標②（学校生活に彩りを与える学校行事の充実）がとても良いと思う。CSがうまくお手伝いできれば、と思う。（鈴木委員）

- ・労働の減少が社会問題にもなっているが、キャリア教育の視点でも子供たちにいろいろな経験をさせて選択肢の幅を広げてあげることでも大事なのではないか。 (山田委員)
- ・自分の子供時代とだいが時代が違うので、今の子供目線でいろいろ考えられたら、と思う。 (山内委員)
- ・初めて学校運営協議会に参加したが、委員の皆さんの真剣さが伝わった。先生方の関わりが会議だけで終わるのではなく、地域とどのように関わりを持ったら良いかを考えていけたら、と思う。 (杉原委員)
- ・いろいろな学年の子どもがいる、なかよし班の活動はとても良いと思う。「ゴイゴイタイム」がいつから船越で始まったかわからないが、そのような、学習の継続が、ここ最近の船越の子どもの学力向上のひとつの要因なのかな、と思ったことがあった。 (権瓶委員)
- ・自治会や地域住民が、学校外で子どもに寄り添える活動で、どのように貢献できるかを考えていけたらと思う。 (杉山委員)

協議の結果、全員異議なくこれを承認した。

(2) 浜松市立船越小学校 いじめ防止基本方針について

議長の指示により、校長から、資料に基づきいじめの定義についての説明。いじめはあるという前提で、学校経営をしっかりと行い、未然防止、早期発見し、学校と家庭の連携をとりながら早急な対応をしていきたい、との話があった。

(3) 夢育やらまいか事業に対する意見書について

- ・今年度の計画を伝え、了承を得た。

- ・司会から、次回会議は、令和7年7月9日(水)13時30分から会議室で開催する旨の報告があった。